

緑を知ればもっと好きになる。緑を愛すればもっと楽しくなる。

樹土愛楽の春

2024
春
第30号



インクルーシブ公園



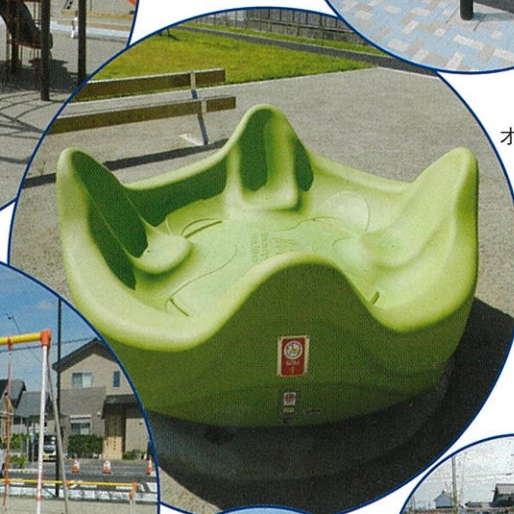
ボウルテーブル



バリアフリーの
駐車場



オムニスピナー



浜名区の「西中瀬中央公園」に、インクルーシブ遊具が設置されています。



インクルーシブ公園とは

誰もが一緒に遊んで楽しめる公園、それがインクルーシブ公園。障がいがあってもなくても、性別も、国籍も関係ない。大人も子どもも一緒になって楽しめることを目指しています。

- ＊ オムニスピナー・・・子ども用回転遊具。車いすからも乗り移れる。
- ＊ ツインサンドボウルテーブル・・・テーブル型の砂場、車いすのままでも利用できる。遊び方は自由に考える。
- ＊ サポート付きブランコ・・・体を固定して乗ることができる。背もたれがついていて転落しにくい。
- ＊ 複合遊具・・・全体的に広めに作られている。





ナチュラリスティック・ガーデン

◆ ナチュラリスティック・ガーデンとは

「ナチュラリスティック・ガーデン」は、世界的に広まってきているガーデン手法で「自然風に見える」というものです。その土地に合った、手入れにあまり手間のかからない植物を選び、植物の生命力をいかに発揮させ、さらに色合いなどの組み合わせにも配慮してガーデンデザインとして感動できるものに仕上げていくというところを目指しています。植物本来の姿でつくる景観と四季の展開を動画のように堪能する、ひとつの確立されたジャンルといえます。新・宿根草主義（New Perennial Movement）とも呼ばれます。

より丈夫な宿根草やグラス類の品種を絞ってふんだんに使います。何年も楽しめる宿根草をメインに、春の芽出しから開花、花後に実やタネをつけるさま、そして晩秋に立ち枯れるまでの季節の変化を、じっくり観賞して楽しもうというものです。



＊写真：「東京ガーデンテラス紀尾井町」の『芽生えの庭』他



＊写真：HANA・BIYORIにある「PIET OUDOLF GARDEN TOKYO」



東京パークガーデンアワード

＜公園を新たな花の魅力で彩る＞

◆ 東京パークガーデンアワード 代々木公園 ◆ 東京パークガーデンアワード 神代植物園

＜第1回 東京パークガーデンアワード 代々木公園＞

公益財団法人 東京都公園協会では、東京都での取り組み「花と光のムーブメントプロジェクト」の一環として、新しい発想を活かした花壇デザインを競うコンテスト「第1回 東京パークガーデンアワード」を都立代々木公園で開催しました。このコンテストの最大の特徴は、宿根草等を活用した「持続可能なロングライフ・ローメンテナンス」をテーマとする、これまでにないコンテストであることです。デザインはもとより、植物や土壌の高度な知識が求められ、今までのものとは一線を画すガーデンコンテストです。審査は、書類審査から始まり、審査を通過した5名の入賞者は、それぞれ約80㎡のスペースにガーデンを制作、3回の審査を経て、令和5年11月にグランプリが決定しました。詳細 <https://www.tokyo-park.or.jp/special/kadan>

＊東京パークガーデンアワード@代々木公園の移り変わり <https://www.tokyo-park.or.jp/special/kadan>より



4月



5月



7月



8月

＜第2回 東京パークガーデンアワード 神代植物園＞

第2回のコンテストが神代植物園にて始まりました。テーマは「武蔵野の“くさはら”」です。かつて、武蔵野は見渡す限りの原野でした。ススキやハギなどが背を超えるまでに茂り、視界を遮る山や木もなく、野から出た月が野に沈む、月見の名所としても知られていました。そんな背景に現代的な解釈を加え、豊かな色彩も取り入れた、ロングライフ・ローメンテナンスのガーデンが、神代植物園正門手前プロムナードにて展開されています。また、日向と日陰のパターンの花壇が作られている点や日本在来の植物を多く取り入れている取り組みなど、見どころ満載な東京都神代植物園に足を運んで、宿根草主体の花壇の新たな動きと季節ごとに变化する花壇が織りなす景色を楽しんでみてはいかがでしょうか。

さらに、植物園内でも新しい動きとして、従来の宿根草花壇を市民参加型でリニューアルする「JINDAIペレニアルガーデンプロジェクト」にも注目です。

＊写真：東京都神代植物園 令和6年2月26日の様子





行ってみよう！

＜この春から花の博覧会が開催＞

◆ 浜名湖花博2024

この春、花と緑にあふれた環境と先端技術との融合による花の博覧会が始まります。浜名湖花博開催から20周年を記念して「浜名湖花博」のレガシーを生かしたうえで、花・緑の普及促進にとどまらず、「デジタル田園都市」の実験場として、先端技術を活用した新しい暮らし方の創造を目指し、「人・自然・テクノロジーの架け橋～レイクハマナ・デジタル田園都市（ガーデンシティ）」をテーマとして、浜名湖ガーデンパークとはままつフラワーパークで開催します。

浜名湖ガーデンパーク・はままつフラワーパーク

会 期：はままつフラワーパーク会場 令和6年3月23日～6月16日

浜名湖ガーデンパーク会場 令和6年4月6日～6月2日

＜はままつフラワーパーク会場＞見どころ！

◆ 没入体験型庭園「フラワーフォレスト」吉谷桂子氏監修◆

視覚的、嗅覚的にも人の五感近く、花に包まれるような感覚を味わえるよう植物を効果的に植栽。天から花が降るように咲く枝垂桜と足元に広がる無数の春の花が、キラキラと宝石のように広がる世界が見どころです。

◆ 「はなのほら」生物多様性ガーデン 小倉珠子氏監修◆

宿根草や球根、日本の野草などチョウやミツバチなどの生き物が好む草花を多く取り入れた、植物相豊かな生物多様性サステナブルガーデンです。

◆ 国内最大級！ウォータースクリーンによる大噴水ショー◆

音楽にのって、巨大なウォータースクリーンにキャラクターたちが次々に登場する迫力満点のショーです。

＜浜名湖ガーデンパーク会場＞見どころ！

◆ 浜名湖花博2024記念庭園「汽水園」 世界的庭園デザイナー 石原和幸氏監修◆

富士山の湧水と浜名湖の眺望を一つの庭で表現します。

◆ 新感性ローズガーデン×R◆

◆ Immersive Museum HAMANAKO～体感するデジタルアートの世界～



没入体験型庭園「フラワーフォレスト」



「はなのほら」生物多様性ガーデン



ウォータースクリーンによる大噴水ショー

出展：浜名湖花博2024HPより



身近な植物を楽しんでみよう

＜宿根草の魅力＞

◆ 宿根草ガーデンの魅力

一度植え付けたら何年も生き残る性質の宿根草は、一年草のように定期的に植え替える必要がなく、ローメンテナンスのガーデンに選ばれています。また、暑さや寒さに強い種類が多くあるので、育てる地域に合わせた種類を選ぶことができます。そして、草丈や花色のバリエーションがあるので、組み合わせ次第で季節によって風景が変わり、見飽きない庭づくりができます。

◆ 宿根草たち 宿根草とは、何年も生育と開花を繰り返す植物で、多年草の一種です。



エキナセア



ルドベキア



リクニス・コノナリア



エリンジウム



ホルデューム・ジュバタム





素敵なお庭を訪ねてみよう

<春のはままつ庭めぐり>

◆ オープンガーデンとは？

オープンガーデンとは、個人の庭を一般公開することです。イギリスで始まったとされ、イギリスのナショナルガーデンスキームが発行する「イエローブック」は、イギリスのごく普通の個人のお庭を紹介したガイドブックで、世界的にも広がり他の国々にも大きな影響を与えています。

浜松市では国内でも早くからオープンガーデンの活動が始まっており、現在浜松市におけるオープンガーデンは、花を愛する愛好家同士の交流を目的に、庭園所有者の好意と善意に基づくボランティアによって実現できています。最新の浜松市オープンガーデンガイドブック「浜松花と緑の庭めぐり2024～2025」には、浜松市内26邸のお庭が紹介されています。



◆ ガーデナーさんこだわりのお庭情報が満載！「浜松花と緑の庭めぐり2024-2025」

浜松のオープンガーデンを紹介する冊子の最新号

個人邸 26邸、団体 6邸をご紹介します



◆価格 1冊 300円

◆販売場所 一般財団法人浜松公園緑地協会（中央区上島3-27-12）
みどり～な（中央区大塚町1876-1）
はままつフラワーパーク（中央区舘山寺町195）



◆ 春のはままつ庭めぐり 令和6年5月10日(金)～13日(月) [開催時間：10時～15時]

オープンガーデンを広く知っていただくために、「浜松花と緑の庭めぐり2024～2025」（オープンガーデンガイドブック）に掲載されている庭から参加者を募り、1日～4日間の公開日を設定しています。通常予約が必要な庭や公開日を限定している庭にも事前連絡なしで訪れることができます。その日は、所有者の方がいらっしゃいますので、花の名前を聞いたり、育て方のコツや庭づくりの楽しみ方などを聞くこともできます。この機会に、すてきな庭を見学してみませんか。

はままつ庭めぐり期間中のそれぞれの庭の公開日など、詳しくは、浜松公園緑地協会のブログをご覧ください。

☆この期間以外もお庭を公開しています。通常の公開日・時間・予約の要不要などは、ガイドブックでご確認のうえ、お出かけください。

* プライベートなお庭を公開する人たちへの感謝と敬意を忘れず、マナーを守って観賞しましょう。



自然とつながるガーデニング <花粉媒介者を守ろう>

植物が種や実をつけるには、受粉しなければいけません。受粉するためには、虫や風の助けを必要とします。植物の花粉を運んで受粉の手助けをする動物のことを「花粉媒介者」や「送粉者」、あるいは「ポリネーター」といいます。

花粉媒介者は、ハチやチョウが有名ですが、鳥、カタツムリ、トカゲなども受粉を助けます。近年、花粉媒介者が少なくなっているといわれています。

庭に樹木を植えたり、季節の寄せ植えを置いたりすることで、地域の緑とつながり、ハチやチョウの居場所を作ることができます。たくさんの種類を育てることで、たくさんの種類の生き物が集まり、庭に小さな生態系ができあがります。ガーデニングを通じて自然環境の保全を少しずつでも始めてみませんか？



一般財団法人 浜松公園緑地協会

樹士愛案 発行日：2024. 3. 25 発行

〒433-8122

静岡県浜松市中央区上島三丁目27番12号

TEL:053-411-6687 / FAX:053-464-7274

e-mail kyokai-info.gif@hama-park.or.jp

URL <https://www.hama-park.or.jp/>

編集後記：区の再編から早数か月。いままでは、区名を聞けば浜松の東西南北どのあたりか検討ができたのに、「中央区〇〇」と聞いてもどのあたりかさっぱりわからず。町名を聞いても「それはどこ？」。浜松市の地図とにらめっこする機会が増えています。（め）

